

3分で読めて、売上げアップとビジネスに役立つ  
アイデアとヒントとノウハウが満載！！  
仕事と論語と蕎麦打ちが大好きな月本康寅がお届けする

# たんぽぽ通信

営業先でトークがはずむと評判のビジネスレターです。  
月本建設(株) 月本康寅 電話 086-275-0676

2016年3月号

■今月の仕事に役立つビジネスジョーク

## 『日本製？』

ニューヨークで一人の日本人がタクシーに乗った。  
しばらくすると一台のトヨタ車がタクシーを追い越していった。  
日本人の乗客は自慢げにこう言った。  
「やっぱりトヨタ車は速いね。日本製だからね。」  
またしばらくすると今度はホンダ車がタクシーを追い越していった。  
またもや日本人の乗客は自慢げにこう言った。  
「やっぱりホンダ車も速いね。日本製だからね。」  
そうこうしているとタクシーは目的地に到着した。運転手はかなりの  
高額を要求した。日本人の乗客は運転手に高すぎると文句を言った。  
すると運転手は料金メータを指差してこう言った。  
「速いだろ？これは日本製だからね。」



■今月の論語

『子曰く、君子は坦として蕩蕩たり。小人は長たらんとして戚戚たり。』

孔子が言うには、心の広い人は物事にとらわれず、のびのびしている。心の狭い人は、人に  
長じようとして、こせこせしている。



お気に入りのことは

決断に迷った時、良心と  
向き合って王道を歩こ  
う！

◆本紙は『月本康寅』のビジネス情報レターです。

4つの資格のプロです。1級建築士・1級建築施工管理技士  
1級土木施工管理技士・宅地建物取引士

月本建設株式会社 代表取締役 月本康寅 (愛称 つきちゃん)  
年齢：53歳 血液型：A型 星座：みずがめ座  
生年月日：昭和38年1月22日 出身地：岡山県岡山市  
現住所：岡山市中区四御神 通勤：鮎モドキがいる川沿いに車で  
好きな言葉：素直、和、元気！ 好きな映画：小さな恋のメロディ  
趣味：蕎麦打ち、映画鑑賞、ゴルフ、カラオケ 家族：妻と大学生(長男)・  
高校生(長女)・小学生(次女)と犬(ジャック)とハムスター(メロン)  
プロフィール：岡山工業高校、九州産業大学建築学部を卒業後、(株)荒木組で現  
場監督の勉強をさせてもらい、3年半後に月本建設(株)に入社、一級建築士を取  
得して現在に至る。FBで「月本康寅」で検索すると人間像が少しわかるかな！

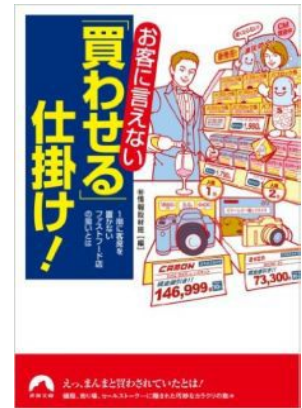


# ■集客・営業・広告・販促に役立つ心理マーケティング

## ■『評価価値の高め方』

「ある店の看板メニューは、フライドポテト。  
これに『店長こだわり日替わりフライドポテト』とネーミングして  
出したところ大当たり。」

（「お客に言えない買わせる仕掛け」情報取材班編 青春出版社より）



私は会社員時代にお客様からこう呼ばれていました。

「おい！お前」

独立するとこう呼ばれるようになりました。

「社長！」

本を書いて、講演をするようになってこう言われるようになりました。

「先生！」

私という「商品自体」は変わっていないのですが、その呼び名が変わっていますね。

実は商品には**商品価値と評価価値という2つの価値**があります。

その商品が本来持っている価値が商品価値。お客様が抱く価値が評価価値。このうち的评价価値が高まればその商品を高く買って頂くことができます。では、この評価価値を高める一番簡単で速攻性のある方法は何でしょうか？

**それは・・・コピーです。**

冒頭で引用したフライドポテトの事例が分かりやすいと思います。「フライドポテト」ではなく「店長のこだわり！日替わり絶品フライドポテト」というようにコピーを変えると商品価値自体は同じであっても、お客様が抱く評価価値が変わります。

もちろん、会社自体あるいは扱う商品の知名度が高く、ブランド力があればこんなことをする必要はありません。でも、多くの中小個人企業では知名度もブランド力も低いのが現状です。

だからこそ自ら会社やお店、商品の評価価値を高める必要があります。

そのための一番簡単で即効性があり、効果的な方法はコピーを自分で考えることです。そしてコピーを自分で考えるために、わざわざコピーライターの専門学校に行く必要はありません。書店でキャッチコピーに関する本を2、3冊買ってきて読んで、『**自分の手で書いてみる**』だけで十分です。

自分の手でコピーを書いてみると、お客様は評価価値によって大きな影響を受けることが分かります。

●本記事は契約のうえ、ビジネス心理学講師・酒井とし夫さんが寄稿しています。

### 今月の強運 ランキング ベスト3

- 1位 九紫火星 経験や知識を使って思う存分活躍のできる今期、すべては案ずるより産むが易しかもしれません。万事努力しだいということです。吉方位は東・南西方位です。
- 2位 二黒土星 気力も充実してパワフルに活動できる今期、知識や研究、教養分野の活動が盛んになってくる気配です。土壇場の予定変更は注意。吉方位は東方・南西方位です。
- 3位 八白土星 開拓精神が運をつかむ鍵となります。頭の回転のよさが決め手となるでしょう。常に明るい雰囲気づくりを心掛けるとよいです。吉方位は東南・西北方位です。

### 連絡先

リフォームを「頼んで良かった」と言われる会社です。

月本建設（株）代表取締役 月本康寅

電話/086-275-0676 FAX/086-275-5267

メール tsukimoto-cop@wind.ocn.ne.jp

ホームページ

月本建設

検索

# コラムでコラボ



みんなで作る 楽しいニューズペーパーです  
営業ネタにご活用ください。



H.28 3月号(1) 発行:一級建築士 月本康寅

## 自分でできるメディカルチェック

### 精神不安の人は肋骨をほぐすとよい

どん近頃元気がない、ストレスが多い、そんな時は、

呼吸が浅くなり猫背になっていることがあります。

そこで簡単にストレス対策ができるストレッチをお伝えします。

座ったままでできるものなので、ぜひ挑戦してみてください。

肋骨の間を骨にそって左右にほぐします。

胸骨(肋骨をつないでいる中央の骨)に左右の人差し指と中指をあて、

わきに向かって押し流すように肋骨の間をすぎしていきます。

女性は胸が邪魔になるので、胸はよけて、鎖骨からみぞおちまでの

骨の間を1本1本丹念にほぐしていきます。

リンパの流れもよくなります。

寝たままバージョンもお伝えしましょう。

肋骨筋、外腹斜筋、腹直筋をよく伸ばすことができます。

手を挙げることで肋骨自体が上に持ち上がり、ほぐれ効果があります。



## 最近の犯罪状況(その127)

出店荒らしを繰り返したとして、住居侵入や窃盗の疑いで、住居不定、無職(26)と飲食店員の少年(18)を逮捕、送検し、計70件(総額約796万円相当)の被害を裏付けて捜査を終えたと発表した。2人とも「生活費や遊ぶ金がほしかった」と容疑を認めている。店舗兼住宅に侵入し現金9千円を盗むなど、昨年3〜11月に飲食店や診療所などで、出店荒らしを繰り返したとしている。

皆さまのご自宅・会社を泥棒から守るお手伝いをさせていただきます。

TEL: 086-252-2299

(株) シールド 本多高明



## 「ふくらはぎの話」

疲れがとれない、イライラする、肩こりや腰痛がある、脚がむくむ、食べる量は少ないのに体重が増える……

そんなスッキリしない状態が続いているなら、代謝が落ちているのかもしれない。

代謝とは、外から取り入れたものを体内でエネルギーに変える仕組みのことです。

代謝が落ちていると体の中の循環がうまくいかず、体の隅々に必要な栄養や物質、エネルギーが行きわたらないため、疲労や肥満、こりや冷えなどさまざまな不調の原因にもなります。そんな代謝のカギを握るのが「ふくらはぎ」です。

ふくらはぎは「第2の心臓」と言われ、重力によって下半身にたまった血液を心臓に戻すポンプの働きをしています。そのため、ふくらはぎの筋肉が凝固まって血流が滞ると、全身の血流が悪くなり、代謝ダウンにつながります。

そのため、ふくらはぎの状態と全身の健康状態には相関関係があり、ふくらはぎがパンパンに硬かったり、しこりがあったり、冷たかったり、柔らかすぎず弾力がない人は、全身の機能が落ちている可能性が大了。

### ■ほぐゆる庵~relax&conditioning■

「移動巡回型施術院 ほぐゆる庵は出張専門の整体院です。痛みの原因から解決します!!!」  
一度ご相談ください。

TEL: 080-6337-3315

オフィス ニコスコ 高野よしくに



## 経験から生まれた言葉を残した哲学者としての孔子

### 師の言葉に忠実だった曾子

■君子は文を以って友を会し、友を以って仁を輔す  
(顔淵篇)

曾子はなくなる前、弟子たちを集めて次のように言いました。

「私の手や足を出してしっかり見なさい。『詩経』に『恐れおのいて深い淵に臨むとうに、また薄い氷を踏むように』とあるが、私は親からいただいた体をそれほどの思いで傷つけないようにしてきた。これからはそんなに気を使う必要がなくなるだろう。ありがたいことだ」曾子の親孝行の精神はどこからきたのでしょうか。曾子の編とされる『孝教』の冒頭には、孔子が曾子に人間にとって一番大切なものは何かを説いて聞かせる件があります。孔子は曾子に孝行の大切さを語り「親からいただいた体を大事にできてはじめて、学問が身につく名を高めることができる」と説きます。



■「楽しい論語塾」より抜粋